



EVIDENCE AUDIOとは

エビデンス・オーディオ社は、楽器・スタジオ機器用の高級オーディオケーブルの提供を目的として1997年に設立されました。今まで20年の間、特にスタジオ等のプロオーディオ機器の内部配線においてサウンドの劣化させない方法を研究してきました。そして、様々な技術的研究を重ねて来た結果、現在のプロダクションの現場へ優れた製品を供給することが可能になったのだと考えています。

特徴は、長期間に渡る主観的・客観的な実験を慎重に重ねた結果、ケーブルを流れる繊細なオーディオ信号を劣化させるいくつかの重要な要因を確認出来ました。粗悪な導電体、絶縁体、プラグ、ハンダを使用したり「より線」を使ったケーブルは、オーディオ信号を劣化させます。その為、エビデンス社では

- ・IGL製のソリッドコア導電体：より線によって引き起こされる障害を避けるには、ソリッドコアの導電体を用いるしかありません。当社の導電体に使用されている材料は、何より良いサウンドを得るために純度が高くきめ細かい特性の原料を選別しています。低い抵抗値が必要な部分には、外部の電磁波の影響を軽減するために絶縁された複数の導電体を配置します。「巨大な」導電体を使用した場合同様に、スキニング効果と呼ばれる異常を無効化するので。

- ・バランス仕様の導電体：ケーブル製造のコストを下げるためには、一つの導電体をシールドとして用いる方法(アンバランス)が一般的です。シールドは外部の影響から信号ラインの導電体を守るために重要ですが、そういったメーカーはソリッドな導電体とラインの対称性(平衡性)が高品質なオーディオケーブルにとって必要不可欠であるということを確認しようとはしないのです。エビデンス・オーディオ社は、全く同一の導電体を陽陰(ホット/コールド)両方の信号線に使用しています。シールドは末端にのみ接続され、ノイズ除去に備えます。

- ・構成：一組の導電体及びケーブルには、構造上キャパシタンス(静電容量)が発生します。

エビデンス・オーディオ社のケーブルはこのキャパシタンスを非常に低く押さえてあり、ケーブル長が長くなってもハイ落ちはありません。スピーカーケーブルは螺旋状の構造を持ち、インダクタンス、キャパシタンスを最適な状態に保っています。

製品について：

さて当社のケーブルはそのユニークな構造のため信号の経路に方向性があります。つまり、入力と出力は必ず決まった方向で使うようになっているのです。シールドケーブル(楽器用など)はプラグに赤い印のある方が出力です。楽器には黒い方を、また赤い方をアンプやミキサーに繋いでください。プラグにカラーの無いものはケーブルに印刷されている文字を御覧下さい。EVIDENCE AUDIOの"E"の文字がある方が入り口で、"O"の文字がある方が出口です。シールド効果を完全に発揮するためにも必ず守って下さい。

ブレークイン：

さてケーブルは恐らく殆どの方が購入したらそのまますぐに使用していたのではないのでしょうか？もちろんそのことで機材が壊れることはありませんが、実はどんなケーブルも最初の40時間(当社テスト結果による)はエージング期間であるという事を御存じでしょうか？これは導電体とその周りの絶縁体との被服膜形成期における変化の事を言っているのです。あるエネルギーが導電体に加えられた時、その周りにはチャージとディスチャージが起こります。これが被っている絶縁体との間でさらに変化し、ある時間経過するとその様相が安定してくるのです。特に最初の10時間でおよそ80%の変化が起こります。これらを踏まえて十分エージングしてからケーブルを使用すると、大変良い結果を得ることが出来ます！

より線とソリッドコア線材：

まず、低音域に注意して下さい。通常のケーブルは信号を通すと低音が豊かになったかのように感じる製品がいくつかありますが、これはまやかに過ぎません。良く調べてみると複雑に折り込んだ細かい線材が生み出す濁った倍音が太く聞こえているだけであり、その結果位相スピードの遅い、水太りした低音を聞かされているに過ぎないのです。このような低音にはもうパンチも明瞭さもありません。特にレコーディングのミックスの中ではなんともまとまらない余計なマスキングベースとなってしまうのです。それに比べると、ソリッドコアケーブルはチョッパーベースなどの音色をあたかも指が弦とフレットボードを目の前でスパイクヒットしたかの様に伝えることが出来るのです！これはマルチトラック録音などで同じ音色をケーブルを比較しながら簡単に確かめることが出来ます。

エビデンス社のケーブルは信号伝達に関する単純な現象から着目し、多くのメーカーが既存ライン死守のためトライしなかった製造方法を取り入れています。理屈は分かっているも生産ラインを稼働させるのは非常に難しいことなのです。あくまで超高品質の信号伝達にこだわったエビデンス社は最初の製品からこれらのこだわるべきポイントを一つも譲らずに製品開発に取り組んできました。このことが音の違いとなって誰にでも簡単に確かめる事が出来るようになったのです。さあ、確かめて下さい、貴方自身の耳で！



EVIDENCE AUDIO(エビデンス・オーディオ)
各種高品質ケーブル

"MELODY"

・LYRIC (2芯)と比べ単芯のMELODYは柔軟性に富み、今まで使いにくかった環境でも楽に取り回せる仕様になっています。また単芯独特のより締まった音質感を堪能できます。



"THE LYRIC"(リリック)

熟考された材料の配合とデザイン等当社のデザイン哲学により製造された、楽器、マイクロフォン及びスタジオ用途のラインケーブルです。そのサウンドは、驚くほどクリアです。

- ・バランス仕様：大音量から完全な静寂まで、信号伝達を疎外することがありません。
- ・発泡ポリプロピレン絶縁体：導電体の周りをフォーム構造によりしっかり保護、微妙なダイナミクスや細部のレゾリューションを失わせません。
- ・高密度銅編み込みシールド：信号以外の雑音を寄せつけません。
- ・グラファイト被覆：脱着時などの耳障りなメカニカルノイズを軽減します。



"THE LYRIC HG"(リリックHG)

バランス仕様ハイインピーダンス音源 / 超高感度ケーブル、上記LYRICとの違いはギター、ベースなどのレベルの低い楽器等をノイズレスに再生できるように設計されました。基本はLYRICと同じですが、さらにソリッドコア部をさらに絶縁し外側には編み目を施したデザインにしています。LYRICはスタジオ等には最適でフラットですが、HGはそれに比べより楽器を意識した仕上げになっています。

"THE SIREN"(サイレン)

スピーカーケーブルは結局これ - あれこれ探す必要はありません



- ・IGL製の銅導電体：中高域をスムーズに伝達します。
- ・ソリッドコア導電体：音のクリアさやフォーカスを維持し、倍音の細部まで明瞭になります。
- ・総サイズ15awg：18awgサイズ4束の導電体により、スキニング効果(高帯域が導電体の表面に集中する現象)を抑制します。
- ・螺旋形構造：並列配置の導電体と比較して、全レベルで素直なダイナミクスが得られます。

- ・ポリプロピレン絶縁体：導電体を強固に守り、電磁波の影響を最小限に押さええます。
- ・丈夫なポリ塩化ビニル製被覆：柔軟性を失わずに導電体を保護します。
- ・編み込みクロス被覆：保護性、堅牢性を向上させます。



"THE SOURCE"(ソース)

コネクタに世界でも非常に評価の高いFURUTEK製をチョイス。ホスピタルグレードの端子はいろいろ出ますが、EVIDENCE社と度重なる協議の結果FURUTEK製が選択されました。

音色はどこかの周波数がエンハンスされるような色付けはなく、純粋にその音の持っているキャラクターの空間の上下、左右を透き通るように広げます。また、音の芯がハッキリするため余計なコンプやEQに頼らなくても良いミックスが期待できます。一度このケーブルで音を聴いてしまうと、もう元には戻れないというくらいの魔力があります。マンション等でアースピンがないような環境でも充分すぎる性能を発揮しますが、電源アースのしっかりしている環境では、その性能をフルで発揮します。今迄の製品とは基本の考え方が違いますので、今一つなにかでワンランクアップを狙っている方には是非お試しください。きっとその違いをハッキリと実感できるでしょう。

SOURCEよりも低音の出るもの、ミッドの張ったもの、高域の張ったものがあります。これらを使い分けるのはエンジニアの腕の見せ所です。では音楽の最も重要な入り口であるマイクやマイクプリアの電源ケーブルはどうすればいいのか「限り無くフラットで次元空間の表現力の豊かなもの」が必

